

きものいしだや

黒部

もっと気軽に着てほしいから、らくちんな着こなしを提案しています

宇奈月温泉や黒部峡谷のトロッコ電車で知られる富山県黒部市に店を構える、きものいしだやは、もっと気軽にきものを楽しんでほしいという女将の気持ちから、オリジナルの簡単な帯結びを提案しています。体に一度巻くだけで結べてしまう間に結べるようになります。また、オリジナルの肌着や簡単な半衿のつけ方なども考案し、着やすくして着心地もよくそして着くずれしない着付け方法に力を注いでいます。



「私がコンシェルジュです」

柔らかな身のこなしが素敵な女将さん。

シンプルでモダンな普段着から、品格のある装いまで取り揃えた店内は、和雑貨やインテリアなども充実しています。

●富山県黒部市三日市 3085 ☎0765(52)0028

<http://www.isidaya.co.jp/>

◎10時～19時 休水曜



いしだやオリジナル

らくらく角出し結び



帯と一緒に回せる帯板を使います。たれになる側が90センチくらいの長さになるように、て先を内側に折ります。わになったところからてとします。



折ったて先が内側になるように帯を背中当てます。てが腕の長さと同じになるようにしててとたれの帯幅を半分にし、てをたれの上に重ねます。



てをたれの下からくぐらせてひと結びし、しっかりと締めたら、てとたれが垂直になるように中央に戻します。

鮮やかな色合いの琉球緋に、シンプルな中にモダンさを感じさせる洛風林の八寸名古屋帯を合わせて。きもの地・帯地/きものいしだや



絞り柄を施した泥染め紬に御所鶴の藤井絞り九寸名古屋帯。きもの地・帯地/きものいしだや



憧れの角出し結びも、この結び方なら失敗することなくきれいに決まります。すぐにも実践できるいしだや流らくらく帯結びで、素敵なきもの生活をお送りください。



いしだやの「楽・らくきものスリップ」は、きもの快適さを守るために、通気性にこだわっています。また身頃が分かれるので、着やすく脱ぎやすく、裾にはスリットを入れてあるため、裾さばきもたつきません。楽・らくきものスリップ(上)夏用 6300円、(下)秋冬用 8400円/きものいしだや

四 たれの内側の、帯枕の下側の帯をきれいに整えて、上に上げておきます。



五 たれを下に下ろし、お太鼓底を決めたら残りを内側に折り上げてお太鼓の大きさと形を決めます。



六 お太鼓底がくずれないようにそっと体から離し、ての輪の中に上から手を入れて折り上げて二重になった帯を迎えに行きます。



七 ての輪の中に帯を入れて、お太鼓底とての下側が重なるまで上に引き上げます。



八 帯締めを当てて後ろで仮に結び、袷合わせと同じ方向に帯を回したら、帯締めと帯揚げを整えて完成です。



九 お太鼓底の後ろ姿です。簡単でらくちな結び方ですが、通常の結び方とでき上がりは変わりありません。



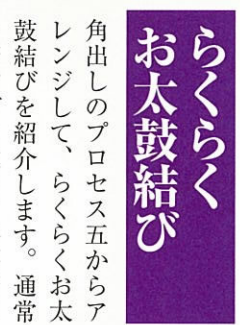
十 お太鼓の底とたれの交わるところをしっかりと持ち、お太鼓の外側から一枚目に仮紐を通して後ろへ回し結んでおきます。



十一 仮紐を通したところに帯締めを通し、結ばない状態で帯を袷合わせと同じ方向に回して帯揚げ、帯締めを整えて、仮紐をはずして完成です。



十二 角出しのプロセス五からアレンジして、らくらくお太鼓結びを紹介いたします。通常の帯結びと違い、半幅帯のように前で結べるのもこの結びの特徴です。



らくらくお太鼓結び

四 たれとての帯幅を、結び目の際から広げます。てを下に下ろします。



五 ての輪を結び目の際からきれいに広げ、輪を左右に広げて引っ張ります。これで結び目が締まります。



六 左右に広げたてを整えて、片手で押さえながら下に出たたれをての上に重ね上げます。



七 たれを上げて帯山が決まったら、帯揚げを通して後ろで仮に結んでおきます。



八 お太鼓底を決めます。残りのたれは、写真のように内側に折り込みます。



九 お太鼓底から出るたれの分量は、お好みで調節します。

